お茶の水女子大学 「学術情報の利用に関する調査」結果

1 回答状況

1-1 回答者の職位別内訳

	度数	割合(%)
教授	8	25. 0
准教授	4	12. 5
講師	1	3. 1
助教	3	9. 4
上記以外の研究職	6	18. 8
大学院生(博士(後期)課程)	9	28. 1
大学院生(博士(前期)課程)	1	3. 1
合計	32	100.0

1-2 回答者の年齢層別内訳

年代	教員	大学院生	合計
20 - 29 歳	2	9	11
20 - 29 成	9. 1%	90.0%	34. 4%
30 - 39 歳	4	1	5
30 - 39 成	18. 2%	10. 0%	15. 6%
40 - 49 歳	9	0	9
40 - 49 成	40. 9%	. 0%	28. 1%
50-59 歳	6	0	6
30—39 成	27. 3%	. 0%	18. 8%
60-69 歳	1	0	1
00 — 09 成	4. 5%	. 0%	3. 1%
合計	22	10	32
口前	100.0%	100.0%	100.0%

1-3 回答者の分野別内訳

	農学	生物学	物理学	工学	総合領域	複合新領域	社会科学	人文学	合計
お茶の水女子大学	2	7	4	2	2	1	10	4	32
の衆の小女子八子	6. 3%	21. 9%	12. 5%	6. 3%	6. 3%	3. 1%	31. 3%	12. 5%	100.0%

1-4 回答者の性別

	教員	大学院生	合計
男性	8	0	8
	36. 4%	. 0%	25. 0%
女性	14	10	24
女性	63. 6%	100.0%	75. 0%
合計	22	10	32
	100.0%	100.0%	100.0%

2-1 電子ジャーナルの利用度(Q15)

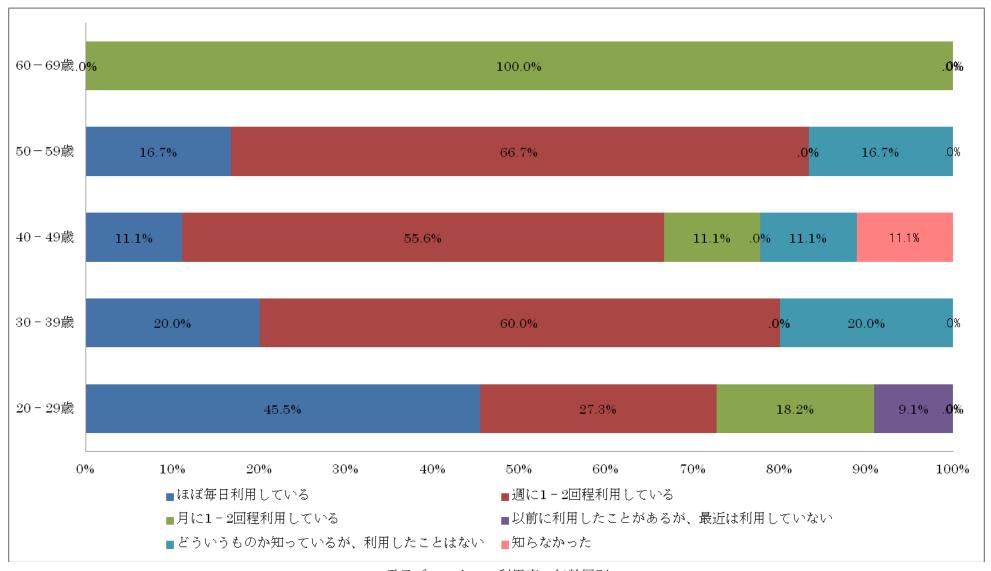
Q15.電子ジャーナルをどの程度利用していますか(目次の閲覧を含む)

2-1-1 専門分野大区分別

		自然	科学	人文社会	≩科学	合計
		教員	大学院生	教員	大学院生	
ほぼ毎日利用している	度数	5	3	0	0	8
はは毎日利用している	割合(%)	38. 5%	60.0%	. 0%	. 0%	25. 0%
週に1-2回程利用している	度数	7	2	5	1	15
週に1-2回住利用している	割合(%)	53. 8%	40.0%	55. 6%	20. 0%	46. 9%
月に1-2回程利用している	度数	1	0	1	2	4
月に1-2回住利用している	割合(%)	7. 7%	. 0%	11.1%	40.0%	12. 5%
以前に利用したことがあるが、	度数	0	0	0	1	1
最近は利用していない	割合(%)	. 0%	. 0%	. 0%	20. 0%	3. 1%
どういうものか知っているが、	度数	0	0	2	1	3
利用したことはない	割合(%)	. 0%	. 0%	22. 2%	20. 0%	9. 4%
知らなかった	度数	0	0	1	0	1
((() () () () () () () () ()	割合(%)	. 0%	. 0%	11. 1%	. 0%	3. 1%
合計	度数	13	5	9	5	32
	割合(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

2-1-2 年齢層別

				年代			合計
		20 - 29 歳	30 - 39 歳	40 - 49 歳	50-59 歳	60-69 歳	口引
ほぼ気口利田 ブルス	度数	5	1	1	1	0	8
ほぼ毎日利用している	割合(%)	45. 5%	20. 0%	11. 1%	16. 7%	. 0%	25. 0%
海に1 2回知利用している	度数	3	3	5	4	0	15
週に1-2回程利用している	割合(%)	27. 3%	60. 0%	55. 6%	66. 7%	. 0%	46. 9%
日に 1 9回知到田している	度数	2	0	1	0	1	4
月に1-2回程利用している	割合(%)	18. 2%	. 0%	11. 1%	. 0%	100. 0%	12. 5%
以前に利用したことがあるが、最近は利用していない	度数	1	0	0	0	0	1
以前に利用したことがあるが、取近は利用していない	割合(%)	9. 1%	. 0%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 1%
どういうものか知っているが、利用したことはない	度数	0	1	1	1	0	3
とういうものが知っているが、利用したことはない	割合(%)	. 0%	20. 0%	11. 1%	16. 7%	. 0%	9. 4%
100 to hoot	度数	0	0	1	0	0	1
知らなかった	割合(%)	. 0%	. 0%	11. 1%	. 0%	. 0%	3. 1%
∆ =1	度数	11	5	9	6	1	32
合計	割合(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



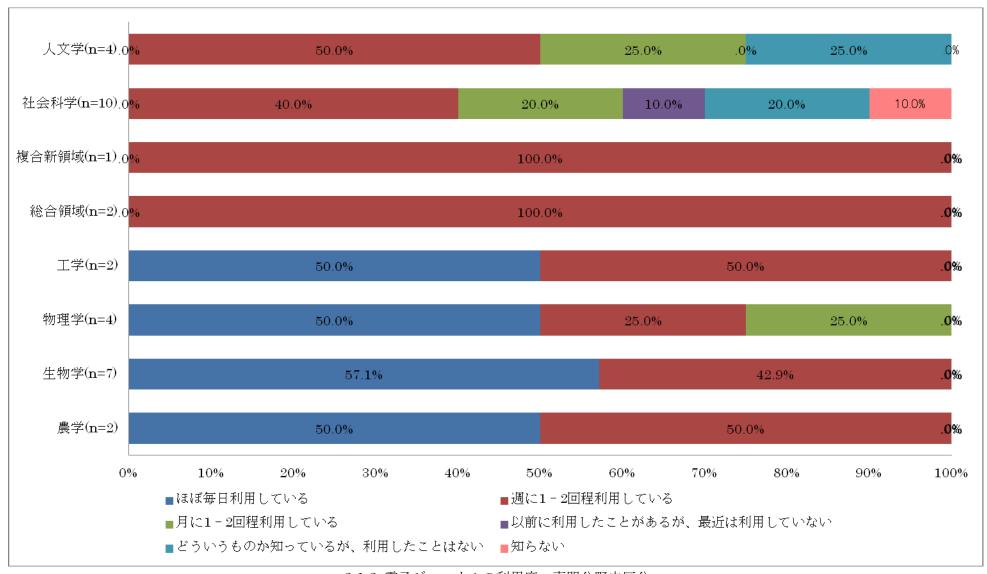
電子ジャーナルの利用度:年齢層別

2-1-3 職位別

2 1 0 (194(1970))				職位				
	教授	准教授	講師	助教	上記以外の研究 職	大学院生(博士 (後期)課程)	大学院生(博 士(前期)課 程)	合計
ほぼ毎日利用している	1	1	0	0	3	2	1	8
はは毎日利用している	12. 5%	25. 0%	. 0%	. 0%	50.0%	22. 2%	100.0%	25. 0%
週に1-2回程利用している	5	3	0	2	2	3	0	15
週に1-2回柱利用している	62. 5%	75. 0%	. 0%	66. 7%	33. 3%	33. 3%	. 0%	46. 9%
月に1-2回程利用している	1	0	0	1	0	2	0	4
月に1-2回柱利用している	12. 5%	. 0%	. 0%	33. 3%	. 0%	22. 2%	. 0%	12. 5%
以前に利用したことがあるが、最	0	0	0	0	0	1	0	1
近は利用していない	. 0%	. 0%	. 0%	. 0%	. 0%	11. 1%	. 0%	3. 1%
どういうものか知っているが、利	1	0	1	0	0	1	0	3
用したことはない	12. 5%	. 0%	100.0%	. 0%	. 0%	11. 1%	. 0%	9. 4%
如うなかった	0	0	0	0	1	0	0	1
知らなかった	. 0%	. 0%	. 0%	. 0%	16. 7%	. 0%	. 0%	3. 1%
合計	8	4	1	3	6	9	1	32
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

2-1-4 専門分野別

					中国	≅分				
		農学	生物学	物理学	工学	総合領域	複合新領 域	社会科学	人文学	合計
ほぼ毎日利用している	度数	1	4	2	1	0	0	0	0	8
はは毎日利用している	割合(%)	50.0%	57. 1%	50.0%	50.0%	. 0%	. 0%	. 0%	. 0%	25. 0%
週に1-2回程利用している	度数	1	3	1	1	2	1	4	2	15
週に1-2回性利用している	割合(%)	50.0%	42. 9%	25. 0%	50.0%	100.0%	100.0%	40.0%	50.0%	46. 9%
月に1-2回程利用している	度数	0	0	1	0	0	0	2	1	4
月に1-2回性利用している	割合(%)	. 0%	. 0%	25. 0%	. 0%	. 0%	. 0%	20.0%	25. 0%	12. 5%
以前に利用したことがあるが、最近は利用していない	度数	0	0	0	0	0	0	1	0	1
以前に利用したことがあるが、最近は利用していない	割合(%)	. 0%	. 0%	. 0%	. 0%	. 0%	. 0%	10.0%	. 0%	3. 1%
どういうものか知っているが、利用したことはない	度数	0	0	0	0	0	0	2	1	3
とういうものが知っているが、利用したことはない	割合(%)	. 0%	. 0%	. 0%	. 0%	. 0%	. 0%	20.0%	25. 0%	9. 4%
40 i to to to	度数	0	0	0	0	0	0	1	0	1
知らなかった	割合(%)	. 0%	. 0%	. 0%	. 0%	. 0%	. 0%	10.0%	. 0%	3. 1%
合計	度数	2	7	4	2	2	1	10	4	32
	割合(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



2-1-2 電子ジャーナルの利用度:専門分野中区分

2-2 利用しているタイトル数(Q15-2)

Q15-2.日頃利用している電子ジャーナルのタイトル数(雑誌数)はおよそいくつですか?

2-2-1 全体および大分野・教員/院生別

		自然	科学	人文社	会科学	全体
		教員	大学院生	教員	大学院生	土平
度数	有効	13	5	6	3	27
泛奴	欠損値	0	0	3	2	5
平均値		7. 54	10.00	14. 00	5. 00	9. 15
中央値		5	10	13	5	5
最頻値		5	5ª	5ª	4 ^a	5
標準偏差		5. 04	6. 12	10. 86	1. 00	7. 01
最小値		2	5	4	4	2
最大値		20	20	30	6	30
パームンカ	25	5	5	5	4	5
パーセンタ イル	50	5	10	13	5	5
אל זי	75	10	15	23		10

a. 最頻値が複数あります。そのうちの最小値が表示されます。

2-2-2 専門分野別

		農展学	生物学	物理学	工 学	総合領域	複合新領域	社会科学	人文学
回答者数	有効	2	7	4	2	2	1	6	3
凹合有数	欠損値	0	0	0	0	0	0	4	1
平均値		12. 50	6. 43	9. 75	7. 50	10.00	4. 00	11. 50	10.00
中央値		13	5	9	8	10	4	6	5
最頻値		5a	5	2a	5a	5a	4	4	5
標準偏差		10. 61	2. 44	7. 59	3. 54	7. 07		10. 95	8. 66
最小値		5	5	2	5	5	4. 00	4	5
最大値		20	10	20	10	15	4	30	20
パーセン	25	5	5	3	5	5	4	4	5
タイル	50	13	5	9	8	10	4	6	5
ブイル	75		10	18			4	23	

a. 最頻値が複数あります。そのうちの最小値が表示されます。

2-3 電子ジャーナルの満足度(Q15-3)

Q 15-3.利用している電子ジャーナルについて、どの程度満足していますか?

	自然	科学	人文社	会科学	全体
	教員	大学院生	教員	大学院生	土华
とても満足してる	3	0	3	0	6
とても両定してる	23. 1%	. 0%	50.0%	. 0%	22. 2%
ある程度満足している	9	4	2	2	17
める性及両足している	69. 2%	80.0%	33. 3%	66. 7%	63.0%
不満がある	1	1	1	1	4
1、回 7・82 の	7. 7%	20.0%	16. 7%	33. 3%	14. 8%
合計	13	5	6	3	27

100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

2-4 電子ジャーナルを利用しない理由(Q15-4)

Q 15-4.なぜ、電子ジャーナルを利用していないのでしょうか?

					理		
							社会科学
						学 生	社会科学
							社会科学
						学 生	社会科学
							人文学

- 2-5 Q16.電子ジャーナルに今後どのような機能が必要と考えますか?
- 1) DL した論文の整理が簡単にできるような機能【教員、生物学】
- 2) It would be great if they have cross-reference functions. 【教員,社会科学】
- 3) PDF ダウンロードまたは閲覧が可能でないジャーナルのダイジェスト機能(要は Abstract だけではデータが見えないので、ペーソスだけでも 図表などの閲覧が可能な機能があると、有料であっても取得すべきかどうかが判断できる)。【教員、農学】
- 4) すべての雑誌を読めるようになるとよい。【教員、生物学】
- 5) どの雑誌も誰でタダでも見られること。契約金が高いと実質的には見られない。【教員、農学】
- 6) ほとんどの電子ジャーナルに対して、学内と同様に自宅でもアクセスできるようにしてほしい。【大学院生、社会科学】
- 7) メジャーな海外論文は掲載していただいているが、マイナーなものがないこと。より多くの雑誌を掲載していただけるとすぐに入手できてありがたいです。【大学院生、社会科学】
- 8) 閲覧できる論文数を増やしてほしい。工学などの他分野も増やしてほしい。古い論文も電子化してほしい。検索しやすくしてほしい。【大学院生、物理学】
- 9) 個人の興味・関心、研究分野に応じて論文情報等を通知してくれると助かる。Google scholar や Pubmed などに定期的に同じキーワードで検索を掛け、最新の情報を得るようにはしているが、実験繁忙期になると自分で情報収集する時間が取れなくなったりするので。電子ジャーナルのメルマガ配信も受けているが、個別のジャーナルではなく、複数の電子ジャーナルから横断的に、個人の関心に沿う情報を提供してくれるようなメルマガ等があると大いに助かる。【大学院生、生物学】
- 10) 今の状態で、充分だと思います。これ以上機能がが増えても、読める量が増える訳ではないので。【教員、社会科学】
- 11) 最新論文の閲覧【教員,複合新領域】
- 12) 発行に関するお知らせ【教員、社会科学】

2-6 印刷体雑誌の必要性-最新号(Q17)

Q17.雑誌の最新号について、以下のどの考えを支持されますか?

	自然	科学	人文社	会科学	全体
	教員	大学院生	教員	大学院生	土平
 電子ジャーナルがあれば印刷体の雑誌は不要である	9	2	2	0	13
电サンヤーナルがめればはい刺体の推応は小女でめる	69. 2%	40.0%	22. 2%	. 0%	40. 6%
電子ジャーナルと印刷体の雑誌の両方が必要	4	3	7	5	19
电ナジャーナルと印刷体の粧誌の両方が必要	30. 8%	60.0%	77. 8%	100.0%	59. 4%
승計	13	5	9	5	32
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

2-7 印刷体雑誌の必要性-バックナンバー(Q18)

Q18.雑誌のバックナンバーについて、以下のどの考えを支持されますか?

	自然	科学	人文社	会科学	全体
	教員	大学院生	教員	大学院生	土体
 電子ジャーナルがあれば印刷体の雑誌は不要である	11	3	3	2	19
电サンヤーナルがめればは中側体の粧脈は小女にめる	84. 6%	60. 0%	33. 3%	40. 0%	59. 4%
電子ジャーナルと印刷体の雑誌の両方が必要	2	2	6	3	13
电サンヤーナルと印刷体の推読の両方が必要	15. 4%	40. 0%	66. 7%	60. 0%	40. 6%
승計	13	5	9	5	32
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

2-8 電子ジャーナル、印刷体雑誌以外からの論文入手(Q19)

Q19.必要な論文が電子ジャーナルまたは印刷体の雑誌で利用できないときにどうしていますか?

		自然	科学	人文社	会科学	全体
			大学院生	王1年		
図書館の11 (図書館明立共権定) ナスドイユエナフ	度数	7	4	7	4	22
図書館のILL(図書館間文献複写)を通じて入手する	割合(%)	21. 9%	12. 5%	21. 9%	12. 5%	68. 8%
インターネット上の出版社等のサイトで入手する(クレジットカード決済)	度数	1	1	4	0	6
インダーネット工の出版社等のリイトで大手する(グレジットカート決済)	割合 (%)	3. 1%	3. 1%	12. 5%	. 0%	18. 8%
英老に オール マサキロリケの光はたけをナス	度数	4	0	2	0	6
著者にメールで抜き刷り等の送付を依頼する	割合(%)	12. 5%	. 0%	6. 3%	. 0%	18. 8%
ノンカーナルトの機即川場が上川の英名の共ノーナ塚」でユエナフ	度数	4	3	3	3	13
インターネット上の機関リポジトリや著者のサイトを探して入手する 	割合 (%)	12. 5%	9. 4%	9. 4%	9. 4%	40. 6%
友人や知人を通じて入手する	度数	6	2	0	2	10
及人や和人を通じて八子する	割合(%)	18. 8%	6. 3%	. 0%	6. 3%	31. 3%
3 # + + + > W 7	度数	2	1	1	3	7
入手をあきらめる	割合 (%)	6. 3%	3. 1%	3. 1%	9. 4%	21. 9%
7.014	度数	0	0	1	1	2
その他	割合(%)	. 0%	. 0%	3. 1%	3. 1%	6. 3%
A=1	度数	13	5	9	5	32
合計	割合(%)	40. 6%	15. 6%	28. 1%	15. 6%	100.0%

3 電子ジャーナル以外の電子情報資源の利用

3-1 資料発見のためのツール(Q20)

Q 20. 研究や教育のために必要な情報を探すために、次のそれぞれの方法をどれくらいの頻度で用いていますか?

印刷体のディレクトリや書誌を月	用いて検索					図書館のOPAC(オンライン目録)	やNACSIS-WebC	atで検索			
	自然	科学	人文社	会科学	全体		自然	科学	人文社:	会科学	全体
	教員	大学院生	教員	大学院生	土妆		教員	大学院生	教員	大学院生	土妆
 ほぼ毎日利用している	1	1	1	0	3	 	0	2	1	1	4
はは毎日利用している	7. 7%	20.0%	11. 1%	. 0%	9. 4%	はは毎日利用している	. 0%	40. 0%	11. 1%	20. 0%	12. 5%
週に1 - 2回程利用している	1	0	3	2	6	 	1	2	6	2	11
週に1-2回径利用している	7. 7%	. 0%	33. 3%	40. 0%	18. 8%	週に1-2回程利用している	7. 7%	40. 0%	66. 7%	40. 0%	34. 4%
月に1 - 2回程利用している	1	1	1	3	6	 	7	0	0	2	9
月に1-2回径利用している	7. 7%	20.0%	11. 1%	60. 0%	18. 8%	月に1-2回程利用している	53.8%	. 0%	. 0%	40.0%	28. 1%
以前に利用したことがあるが、	8	2	2	0	12	以前に利用したことがあるが、	3	1	1	0	5
最近は利用していない	61.5%	40.0%	22. 2%	. 0%	37. 5%	最近は利用していない	23. 1%	20.0%	11. 1%	. 0%	15. 6%
どういうものか知っているが、	2	1	1	0	4	どういうものか知っているが、	2	0	1	0	3
利用したことはない	15. 4%	20.0%	11. 1%	. 0%	12. 5%	利用したことはない	15. 4 %	. 0%	11. 1%	. 0%	9. 4%
知らなかった	0	0	1	0	1		13	5	9	5	32
知らなかうた	. 0%	. 0%	11. 1%	. 0%	3. 1%	□āl	100.0%	100.0%	100. 0%	100.0%	100.0%
合計	13	5	9	5	32						
ПāI	100.0%	100. 0%	100.0%	100.0%	100. 0%						
索引/抄録データベースで検索	(例. PubMed	(Medline), Sco	ppus, Web of	Science, CiNi	i, JDreamII)	ウェブ上の検索エンジンで検索(例. Google, Y	ahoo, Bing, E	xcite, …)		
	自然	科学	人文社	会科学	A.4		自然	科学	人文社:	会科学	^ <i>\</i>
	教員	大学院生	教員	大学院生	全体		教員	大学院生	教員	大学院生	全体
にばたり利用している	6	3	2	1	12	にばた口利田! マルフ	8	2	4	2	16
ほぼ毎日利用している	46. 2%	60. 0%	22. 2%	20. 0%	37. 5%	ほぼ毎日利用している	61.5%	40.0%	44. 4%	40.0%	50.0%
191-1 0日和刊田レイル7	4	2	5	3	14	では、1 0回知知日 マルフ	1	2	4	1	8
週に1 - 2回程利用している	30. 8%	40. 0%	55. 6%	60. 0%	43. 8%	- 週に1 - 2回程利用している	7. 7%	40.0%	44. 4%	20.0%	25. 0%
D1 000000000000000000000000000000000000	2	0	1	1	4	DI-1 000000000000000000000000000000000000	4	1	0	2	7
月に1 - 2回程利用している	15. 4%	. 0%	11. 1%	20. 0%	12. 5%	月に1 - 2回程利用している	30.8%	20.0%	. 0%	40.0%	21.9%
以前に利用したことがあるが、	0	0	1	0	1	どういうものか知っているが、	0	0	1	0	1
最近は利用していない	. 0%	. 0%	11. 1%	. 0%	3. 1%	利用したことはない	. 0%	. 0%	11. 1%	. O%	3. 1%
どういうものか知っているが、	1	0	0	0	1	A = 1	13	5	9	5	32
利用したことはない	7. 7%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 1%	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100. 0%	100.0%
A=1	13	5	9	5	32						
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%						

自分の専門分野の重要な雑誌を関	閲覧					同僚や指導教員に相談					
	自然	科学	人文社	会科学	全体		自然	科学	人文社	会科学	全体
	教員	大学院生	教員	大学院生	土1年		教員	大学院生	教員	大学院生	土妆
 ほぼ毎日利用している	2	1	1	0	4	ほぼ毎日利用している	1	2	0	0	3
はは毎日利用している	15. 4 %	20.0%	11. 1%	. 0%	12.5%	はは毎日利用している	7. 7%	40.0%	. 0%	. 0%	9. 4%
 週に1 - 2回程利用している	2	1	3	1	7	- 週に1 - 2回程利用している	0	2	0	0	2
週に1-2回径利用している	15. 4%	20.0%	33. 3%	20. 0%	21.9%	過に1-2回程利用している	. 0%	40.0%	. 0%	. 0%	6. 3%
月に1 - 2回程利用している	8	3	4	4	19	月に1 - 2回程利用している	4	1	5	5	15
万に1-2回程刊用している	61.5%	60.0%	44. 4%	80. 0%	59.4%	月101-2回程刊用している	30. 8%	20.0%	55. 6%	100.0%	46. 9%
以前に利用したことがあるが、	1	0	1	0	2	以前に利用したことがあるが、	7	0	2	0	9
最近は利用していない	7. 7%	. 0%	11. 1%	. 0%	6.3%	最近は利用していない	53.8%	. 0%	22. 2%	. 0%	28. 1%
合計	13	5	9	5	32	どういうものか知っているが、 利用したことはない	1	0	2	0	3
	100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 利用したことはない	7. 7%	. 0%	22. 2%	. 0%	9. 4%					
						合計	13	5	9	5	32
							100.0%	100.0%	100. 0%	100.0%	100.0%
図書館のレファレンスサービスを											
	自然			会科学	全体						
	教員	大学院生	教員	大学院生							
月に1 - 2回程利用している	1	1	2	2	6						
7/101 ZEIE19/10 CC 0	7. 7%	20. 0%	22. 2%	40. 0%	18. 8%						
以前に利用したことがあるが、	3	1	3	1	8						
最近は利用していない	23. 1%	20. 0%	33. 3%	20. 0%	25. 0%						
どういうものか知っているが、	6	3	4	2	15						
利用したことはない	46. 2%	60. 0%	44. 4%	40. 0%	46. 9%						
知らなかった	3	0	0	0	3						
7.7.7.7.	23. 1%	. 0%	. 0%	. 0%	9. 4%						
合計	13	5	9	5	32						
I # :	100.0%	100. 0%	100.0%	100.0%	100.0%						

3-2 電子書籍端末の利用(Q21)

Q21.電子書籍(文献)を表示できる端末(iPad, Kindle, Sony Reader, GALAPAGOS, iPhone 等)を、研究・教育に関連する資料のために利用していますか?

	自然	科学	人文社	会科学	全体
	教員	大学院生	教員	大学院生	土神
利用している	4	1	4	0	9
AIM C C C C C	30. 8%	20.0%	44. 4%	. 0%	28. 1%
利用したことがある	1	1	0	1	3
利用したことがある	7. 7%	20.0%	. 0%	20.0%	9. 4%
利用したことはないが、今後は利用したい	4	3	4	3	14
利用したことはないが、予後は利用したい	30. 8%	60.0%	44. 4%	60.0%	43. 8%
利用したことはないし、今後も利用しないと思う	4	0	1	1	6
一門用したことはないし、「後も利用しないと応う	30. 8%	. 0%	11. 1%	20.0%	18. 8%
合計	13	5	9	5	32
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3-3 電子書籍サイトの利用体験(Q22)

Q22.以下の電子書籍サイト(前問の電子書籍端末による閲覧、インターネット上での PDF 版等の提供、電子書籍の検索等)を、研究または教育目的でどの 程度利用していますか?

		自然	科学	人文社	:会科学	全体			自然	科学	人文社	会科学	全体
		教員	大学院生	教員	大学院生	至14			教員	大学院生	教員	大学院生	主体
	週に1回以上利用する	0	1	0	0	1		週に1回以上利用する	0	1	0	0	1
	週に1四以上利用する	. 0%	20.0%	. 0%	. 0%	3. 1%		週に1回以上利用する	. 0%	20.0%	. 0%	. 0%	3. 1%
NetLibrary	知ってはいるが利用した	1	1	1	1	4	ebrary	知ってはいるが利用した	2	1	0	1	4
Neccipiary	ことはない	7. 7%	20.0%	11.1%	20.0%	12.5%	ebrary	ことはない	15. 4%	20.0%	. 0%	20.0%	12. 5%
	知らない	12	3	8	4	27		知らない	11	3	9	4	27
	からない	92. 3%	60.0%	88. 9%	80.0%	84. 4%		からない	84. 6%	60.0%	100.0%	80.0%	84. 4%
合計		13	5	9	5	32		合計	13	5	9	5	32
		100.0%	100.0%	100. 0%	100.0%	100.0%			100. 0%	100.0%	100. 0%	100.0%	100.0%
		自然	I-1 224	1 -4- 41	스타프				ᄼᅆ	科学	1 -4- 41	V 21 54	
		教員	大学院生	ー へ又社 教員	会科学 大学院生	全体			型型	大学院生	へ又社 教員	会科学 大学院生	全体
		7/2	1	7/2		2			0	1	7/2	0	1
	週に1回以上利用する	. 0%	20. 0%	. 0%		6. 3%		週に1回以上利用する	. 0%	20.0%	. 0%	. 0%	3. 1%
		0	0	1	0	1				0	1	2	4
	月に1 - 2回程利用する	. 0%	. 0%	11. 1%	. 0%	3. 1%		月に1 - 2回程利用する	7. 7%	. 0%	11. 1%	40. 0%	12. 5%
Safari (Safari		3	0	1	0	4			3	1	3	1	8
Online) 第	利用したことがある	23. 1%	. 0%	11. 1%	. 0%	12. 5%	Google ブックス	利用したことがある	23. 1%	20.0%	33. 3%	20.0%	25. 0%
	知ってはいるが利用した	3	3	1	1	8		知ってはいるが利用した	5	3	2	0	10
	ことはない	23. 1%	60.0%	11. 1%	20.0%	25. 0%		ことはない	38. 5%	60.0%	22. 2%	. 0%	31. 3%
	知らない	7	1	6	3	17		知らない	4	0	3	2	9
	知らない	53.8%	20.0%	66. 7%	60.0%	53. 1%		知らない	30.8%	. 0%	33. 3%	40.0%	28. 1%
合計		13	5	9	5	32	合計		13	5	9	5	32
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	口前		100.0%	100.0%	100. 0%	100.0%	100.0%
		4 hb	T-1 234	1 -4-41	V 1/1 374				4 45	T-1 234	1 -4-41	V 1/1 374	
		自然 教員	大学院生	人又在 教員	会科学 大学院生	全体		-	型型 日	科学 大学院生	人又在 教員	会科学 大学院生	全体
		70,0		1	1	2			1	0	0		1
	月に1 - 2回程利用する	. 0%	. 0%	11. 1%	20.0%	6. 3%		利用したことがある	7. 7%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 1%
		2	1	0		4		知ってはいるが利用した	9	4	4	1	18
Amazon Kindle	利用したことがある	15. 4%	20.0%	. 0%	20.0%	12. 5%	Apple iBookstore	ことはない	69. 2%	80.0%	44. 4%	20.0%	56. 3%
Store	知ってはいるが利用した	6	4	3	0	13		tn > 4>1 >	3	1	5	4	13
	ことはない	46. 2%	80.0%	33. 3%	. 0%	40. 6%		知らない	23. 1%	20.0%	55. 6%	80.0%	40. 6%
	40 C +>1 >	5	0	5	3	13	合計		13	5	9	5	32
	知らない	38. 5%	. 0%	55. 6%	60.0%	40. 6%	百計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100. 0%
合計		13	5	9	5	32							
Πēί		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%							

		自然	科学	人文社	:会科学	۸,4			自然	科学	人文社	会科学	۸.
		教員	大学院生	教員	大学院生	全体			教員	大学院生	教員	大学院生	全体
	D1 0010100-7	0	0	1	1	2		W-1001 M-7	1	0	1	0	2
	月に1 - 2回程利用する	. 0%	. 0%	11. 1%	20.0%	6. 3%		週に1回以上利用する	7. 7%	. 0%	11. 1%	. 0%	6. 39
	利田しょこしがま フ	2	0	1	0	3			0	0	0	1	1
Т! 0 Г	利用したことがある	15. 4%	. 0%	11.1%	. 0%	9. 4%		月に1 - 2回程利用する	. 0%	. 0%	. 0%	20.0%	3. 19
Taylor & Francis	知ってはいるが利用した	2	1	3	1	7	Cambridge Univ.	11 m 1 + - 1 + 1 + 7	4	2	2	0	8
	ことはない	15. 4%	20.0%	33. 3%	20.0%	21. 9%	Press	利用したことがある	30.8%	40.0%	22. 2%	. 0%	25.0%
	fm > +>1 >	9	4	4	3	20		知ってはいるが利用した	5	2	2	1	10
	知らない	69. 2%	80.0%	44. 4%	60.0%	62. 5%		ことはない	38. 5%	40.0%	22. 2%	20.0%	31.3%
A =1		13	5	9	5	32		4n > 4s ; .	3	1	4	3	11
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		知らない	23. 1%	20.0%	44. 4%	60.0%	34. 4%
							A = 1	•	13	5	9	5	32
							合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.09
		自然	科学	人文社	会科学				自然	科学	人文社	会科学	A 11
		教員	大学院生	教員	大学院生	全体			教員	大学院生	教員	大学院生	100.0% 全体 5 15.6% 4 12.5%
		0	1	0		1			2	1	1	1	5
	週に1回以上利用する	. 0%	20.0%	. 0%	. 0%	3. 1%		週に1回以上利用する	15. 4%	20.0%	11. 1%	20.0%	15. 69
		1	0	0		2			1	1	2	0	4
	月に1 - 2回程利用する	7. 7%	. 0%	. 0%	20.0%	6. 3%		月に1 - 2回程利用する	7. 7%	20.0%	22. 2%	. 0%	12.5%
Oxford Univ. Press ₹		5	2	3		10	Wiley Online		4	0	1	0	5
	利用したことがある	38. 5%	40. 0%	33.3%	. 0%	31. 3%	Library	利用したことがある	30. 8%	. 0%	11. 1%	. 0%	15. 6%
	知ってはいるが利用した	5	2	1	1	9		知ってはいるが利用した	5	1	1	1	8
	ことはない	38. 5%	40.0%	11.1%	20. 0%	28. 1%		ことはない	38.5%	20.0%	11. 1%	20.0%	25. 0%
		2	0	5	3	10			1	2	4	3	10
	知らない	15. 4%	. 0%	55. 6%	60.0%	31. 3%		知らない	7. 7%	40.0%	44. 4%	60.0%	31.3%
		13	. 5	9		32		1	13		9	5	32
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		100.0%	100.0%	100.0%	100.070	100.070			100.0%	100.0%	100.070	100.070	100.0%
		自然	利 学	人文計	会科学				白伏	科学	人文計	 会科学	
		教員	大学院生	教員	大学院生	全体				大学院生	教員	大学院生	全体
		4	2	0		7			8		0		13
	週に1回以上利用する	30. 8%	40. 0%	. 0%	20. 0%	21. 9%		週に1回以上利用する	61.5%	80.0%	. 0%	20. 0%	40. 6%
		1	1	1	0	3			3	0	2	0	
	月に1 - 2回程利用する	7. 7%	20.0%	11. 1%	. 0%	9. 4%		月に1 - 2回程利用する	23.1%	. 0%	22. 2%	. 0%	15. 6%
		7. 7.0	0	3		9	ScienceDirect		20. 1/0	. 0/0	1	. 0/0	10.07
SpringerLink	利用したことがある	38. 5%	. 0%	33. 3%	20. 0%	28. 1%	(Elsevier)	利用したことがある	7.7%	. 0%	11. 1%	. 0%	6. 3%
知	知ってはいるが利用した 知ってはいるが利用した	ου. υ _{//}	. 0/0	1	20.0%	20. 170		知ってはいるが利用した	0	. 070	11. 1/0	. 0/0	0.07
	ことはない	23. 1%	20.0%	11. 1%	20.0%	18. 8%		ことはない	. 0%	·	11. 1%	20.0%	6. 3%
		23. 170	20.0/0	11. 1/0	20.0%	70.070			. 0/0	. 0/0	5		10
	知らない	. 0%	20.0%	44. 4%	40.0%	21. 9%		知らない	7. 7%	20. 0%	55. 6%	60.0%	31. 39
	1	13	20.0%	44. 4%		32		1	13		33. 0% 9	00. U%	31. 37
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	10		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

		自然	科学	人文社	会科学	全体
		教員	大学院生	教員	大学院生	主体
	週に1回以上利用する	0	1	0	1	2
7.0/14	週1~1四以上利用する	. 0%	20.0%	. 0%	20.0%	6. 3%
	知ってはいるが利用した	1	0	0	0	1
その他	ことはない	7. 7%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 1%
	40 C +>1 >	12	4	9	4	29
	知らない		80.0%	100.0%	80.0%	90. 6%
合計		13	5	9	5	32
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3-4 電子書籍に関する情報入手(Q22-2)

Q22-2.電子書籍に関する情報を得るのに、以下のどれが役立ちましたか?

			自然	科学	人文社	会科学	全体
	図書館からの案内 ウェブ上でたまたま見つけた 学術雑誌の広告で知った 他の研究者からの推薦		教員	大学院生	教員	大学院生	土体
	図書館からの安内	度数	2	1	1	2	6
	凶者昭からの余内	割合 (%)	7. 7%	3. 8%	3. 8%	7. 7%	23. 1%
	ウェブトでもまたま目のけた	度数	10	5	3	2	20
	フェンエでたまたま見りけた	割合 (%)	38. 5%	19. 2%	11.5%	7. 7%	76. 9%
	学術雑誌の広告で知った	度数	1	2	0	0	3
Q22_2ª	子利粧砂の広台で加りた	割合 (%)	3. 8%	7. 7%	. 0%	. 0%	11.5%
QZZ_Z	他の研究者からの推薦	度数	5	2	0	1	8
	他の明先有からの推薦	割合 (%)	19. 2%	7. 7%	. 0%	3. 8%	30. 8%
	学会の会場で知った	度数	1	1	1	0	3
	子芸の芸場で知りた	割合 (%)	3. 8%	3. 8%	3. 8%	. 0%	11.5%
	その他	度数	1	0	1	0	2
		割合 (%)	3. 8%	. 0%	3. 8%	. 0%	7. 7%
合計	△ =1		13	5	5	3	26
		割合 (%)	50.0%	19. 2%	19. 2%	11.5%	100.0%

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されます。

a. 2 分グループを値 1 で集計します。

- 4 学術論文のリーディング量と情報検索のパターン
- 4-1 学術論文のリーディング量(Q1)
- Q1. 最近 4 週間のうちに、だいたいどれくらいの学術論文を読みましたか?

		自然	科学	人文社:	会科学	全体
		教員	大学院生	教員	大学院生	土体
度数	有効	13	5	9	5	32
泛奴	欠損値	0	0	0	0	0
平均値		11. 54	12.00	15. 00	15. 80	13. 25
中央値		10	10	10	20	10
最頻値		10	10	6ª	20	10
標準偏差		6. 75	5. 70	10. 82	11. 23	8. 47
最小値		0	5	6	2	0
最大値		25	20	40	30	40
パーサン	25	10	8	7	5	9
パーセン タイル	50	10	10	10	20	10
ブール	75	16	18	20	25	20

a. 最頻値が複数あります。そのうちの最小値が表示されます。

4-2 最近読んだ学術論文

4-2-1 形式と入手方法(Q9)

Q9.その論文はどのようにして読みましたか?

	自然	科学	人文社	会科学	全体
	教員	大学院生	教員	大学院生	王14
印刷体学術雑誌等の印刷物をそのままで	2	0	4	1	7
印刷体子削粧脳寺の印刷物をそのままで	16. 7%	. 0%	44. 4%	20.0%	22. 6%
印刷体学術雑誌等の印刷物を複写(コピー)して	1	1	1	2	5
印刷体子側椎総寺の印刷物を複与(コピー)して	8. 3%	20.0%	11. 1%	40. 0%	16. 1%
オンラインで利用可能な論文をコンピューター	1	0	0	1	2
の画面で	8. 3%	. 0%	. 0%	20. 0%	6. 5%
以前にダウンロードしたまたはセーブしておい	1	0	0	0	1
た論文をコンピューターの画面で	8. 3%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 2%
オンラインで利用可能な論文(の PDF ファイル	7	4	4	1	16
等)を印刷して	58. 3%	80.0%	44. 4%	20.0%	51.6%
合計	12	5	9	5	31
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

4-2-2 再読の割合(Q4)

Q4. その論文を以前に読んだことがありますか?

	自然	科学	人文社	会科学	全体	
	教員	大学院生	教員	大学院生	土体	
1+1>	6	3	4	2	15	
はい	50. 0%	60.0%	44. 4%	40. 0%	48. 4%	
いいえ	6	2	5	3	16	
0.0.7	50. 0%	40. 0%	55. 6%	60. 0%	51.6%	
△≒	12	5	9	5	31	
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

4-2-3 掲載雑誌または資料のタイプ(Q2、Q11)

Q2. 利用した論文が掲載されている雑誌名をお答えください。雑誌論文でない場合は、その資料のタイプ(会議録、論文集、報告、学位論文、…)をお答えください。

			自然	科学	人文社	会科学	<u> </u>
			教員	大学院生	教員	大学院生	全体
雑誌名		度数	0	0	0	1	1
	『比較家族史研究』	割合(%)	. 0%	. 0%	. 0%	20. 0%	3. 1%
	ACM IFFF	度数	1	0	0	0	1
	ACM, IEEE	割合(%)	7. 7%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 1%
	Am I Dhysial Endogrinal Match	度数	1	0	0	0	1
	Am J Physiol Endocrinol Metab.	割合(%)	7. 7%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 1%
	BBA	度数	0	1	0	0	1
	DDA	割合(%)	. 0%	20.0%	. 0%	. 0%	3. 1%
	Cytologia, Biochemica. Biophysica. Acta	度数	1	0	0	0	1
	Cytologia, blochemica. blophysica. Acta	割合(%)	7. 7%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 1%
	J. Agric. Food Chem.	度数	1	0	0	0	1
		割合(%)	7. 7%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 1%
	J. Med. Chem.	度数	1	0	0	0	1
	J. Med. Grein.	割合(%)	7. 7%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 1%
	JBC	度数	1	0	0	0	1
	JDC	割合(%)	7. 7%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 1%
	January of Connecting Penahalagu	度数	0	0	1	0	1
	Journal of Counseling Psychology	割合(%)	. 0%	. 0%	11.1%	. 0%	3. 1%
	Journal of microbiological methods	度数	1	0	0	0	1
Jo	Journal of interoptorogical inections	割合(%)	7. 7%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 1%
	Journal of Social History	度数	0	0	1	0	1
	Journal Of Social History	割合(%)	. 0%	. 0%	11.1%	. 0%	3. 1%
	Language Learning	度数	0	0	1	0	1

	割合(%)	. 0%	. 0%	11.1%	. 0%	3. 1%
nature	度数	1	0	0	0	1
natur e	割合(%)	7. 7%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 1%
Nature	度数	1	0	1	0	2
na cur e	割合(%)	7. 7%	. 0%	11. 1%	. 0%	6. 3%
nature chemical biology	度数	1	0	0	0	1
nature chemical brotogy	割合(%)	7. 7%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 1%
PHYS. REV. E	度数	0	1	0	0	1
FITS. REV. E	割合(%)	. 0%	20. 0%	. 0%	. 0%	3. 1%
Physical Review Letters	度数	1	0	0	0	1
Physical Review Letters	割合(%)	7. 7%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 1%
Social Cognition	度数	0	0	0	1	1
Social Cognition	割合(%)	. 0%	. 0%	. 0%	20.0%	3. 1%
softmatter	度数	0	1	0	0	1
sortiliatter	割合(%)	. 0%	20. 0%	. 0%	. 0%	3. 1%
Softmatter	度数	0	1	0	0	1
Softmatter	割合(%)	. 0%	20. 0%	. 0%	. 0%	3. 1%
Zoological science	度数	0	1	0	0	1
Zoological science	割合(%)	. 0%	20. 0%	. 0%	. 0%	3. 1%
 キャリアデザイン学会	度数	0	0	1	0	1
イヤリアテリイン子云	割合(%)	. 0%	. 0%	11. 1%	. 0%	3. 1%
駒澤大学仏教学部研究紀要	度数	0	0	1	0	1
刷净入字仏教子部研先祀安	割合(%)	. 0%	. 0%	11. 1%	. 0%	3. 1%
经这四方元年起	度数	0	0	1	0	1
経済研究所年報	割合(%)	. 0%	. 0%	11.1%	. 0%	3. 1%
心理防亡学证灾	度数	0	0	0	1	1
心理臨床学研究	割合(%)	. 0%	. 0%	. 0%	20. 0%	3. 1%
地球環境研究論文集	度数	1	0	0	0	1
心 体	割合(%)	7. 7%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 1%

	 	度数	0	0	0	1	1
	日本の教育史学	割合(%)	. 0%	. 0%	. 0%	20. 0%	3. 1%
	日本平和学会	度数	0	0	1	0	1
	口本十仙子云	割合(%)	. 0%	. 0%	11. 1%	. 0%	3. 1%
		度数	1	0	1	1	3
		割合(%)	7. 7%	. 0%	11.1%	20.0%	9. 4%
合計		度数	13	5	9	5	32
		割合(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

			自然	科学	人文社	会科学	全体
			教員	大学院生	教員	大学院生	土件
資料のタイプ	学位論文	度数	0	0	0	1	1
	于 位 端 久	割合(%)	. 0%	. 0%	. 0%	20.0%	3. 1%
	論文	度数	1	0	0	0	1
		割合(%)	7. 7%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 1%
	論文集	度数	0	0	2	0	2
	端入未	割合(%)	. 0%	. 0%	22. 2%	. 0%	6. 3%
		度数	12	5	7	4	28
		割合(%)	92. 3%	100.0%	77. 8%	80.0%	87. 5%
合計	Δ=1		13	5	9	5	32
		割合(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

4-2-4 (Q11) Q11.その論文が雑誌に掲載されていた (または、これから掲載される)場合、過去1年の間にその雑誌に掲載された論文を延べでどれくらい利用しましたか?

_			自然	科学	人文社	会科学	<u> </u>
			教員	大学院生	教員	大学院生	全体
	1-2 本	度数	2	0	2	3	7
	1-2 本	割合(%)	16. 7%	. 0%	22. 2%	60.0%	22. 6%
7 0 = 0 + 18+4=+1-	3-5本	度数	2	1	2	1	6
その論文が雑誌に	3-5本	割合(%)	16. 7%	20. 0%	22. 2%	20.0%	19. 4%
掲載されていた(または、これから掲載	6-10 本	度数	3	1	1	1	6
	·	割合(%)	25. 0%	20. 0%	11. 1%	20.0%	19. 4%
される)場合、過去 1年の間にその雑	11-20本	度数	3	2	1	0	6
誌に掲載された論		割合(%)	25. 0%	40. 0%	11. 1%	. O%	19. 4%
文を延べでどれく	01 + N L	度数	1	0	2	0	3
らい利用しました	21 本以上	割合(%)	8. 3%	. 0%	22. 2%	. 0%	9. 7%
か?	雑誌には収録されていない	度数	0	0	1	0	1
<i>73</i> · .	推応には火薬されていない	割合(%)	. 0%	. 0%	11. 1%	. 0%	3. 2%
	わからない	度数	1	1	0	0	2
	17 <i>N</i> ' 12 / 14 / 1	割合(%)	8. 3%	20. 0%	. 0%	. O%	6. 5%
스타		度数	12	5	9	5	31
合計		割合(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

4-3 論文の発見手段(Q8)

Q8.その論文は、どのようにして見つけましたか?

	自然	科学	人文社	会科学	全体
	教員	大学院生	教員	大学院生	至14
個人で購読している印刷体の雑誌から	1	0	2	2	5
	8. 3%	. 0%	22. 2%	40. 0%	16. 1%
	0	0	1	0	1
(凶音時寺が候倒半位で失利している)、後国無説の中心体の推論がら	. 0%	. 0%	11. 1%	. 0%	3. 2%
機関購読の電子版(機関内からアクセスできる)雑誌から	1	0	1	0	2
(成) (d) (d)	8. 3%	. 0%	11. 1%	. 0%	6. 5%
学部、学科、研究科、その他にある印刷体の雑誌から	1	0	0	0	1
子中、子行、明元行、その他にめる印刷体の推認がら	8. 3%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 2%
	0	0	1	0	1
はかの電子的コレグションから	. 0%	. 0%	11. 1%	. 0%	3. 2%
	6	2	1	2	11
米引/ 抄嫁 / 一グ パーへを快来した相来から	50.0%	40.0%	11. 1%	40.0%	35. 5%
ウェブ上の検索エンジンで検索した結果から	1	1	1	0	3
フェンエの快ポエンフンで快楽した和木がら	8. 3%	20.0%	11. 1%	. 0%	9. 7%
出版社等の電子ジャーナルサイトを検索して	0	1	1	0	2
山脈性等の電子フャーブルッイドを検索して	. 0%	20. 0%	11. 1%	. 0%	6. 5%
誰か(たとえば同僚)が教えてくれた	2	0	0	1	3
能が、(だこれは内域) が教えてくれがこ	16. 7%	. 0%	. 0%	20. 0%	9. 7%
指導教員が教えてくれた(大学院生の場合)	0	1	0	0	1
16等状質が教えて、40に(八子原工の物質)	. 0%	20.0%	. 0%	. 0%	3. 2%
わからない、あるいはその他の理由	0	0	1	0	1
1///・ひない、 めるいはく の間の揺口	. 0%	. 0%	11. 1%	. 0%	3. 2%
合計	12	5	9	5	31
ΠŘΙ	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

4-4 論文の掲載・収録年(Q3)

Q3. その論文はいつ頃、掲載または収録されたものですか?

		自然	科学	人文社:	会科学	全体
		教員	大学院生	教員	大学院生	主14
2011	度数	7	2	2	0	11
2011	割合(%)	58. 3%	40. 0%	22. 2%	. 0%	35. 5%
2010	度数	1	1	1	2	5
2010	割合(%)	8. 3%	20. 0%	11. 1%	40. 0%	16. 1%
2009	度数	1	2	0	0	3
2009	割合(%)	8. 3%	40. 0%	. 0%	. 0%	9. 7%
2008	度数	1	0	0	0	1
2000	割合(%)	8. 3%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 2%
2007	度数	0	0	3	0	3
2007	割合(%)	. 0%	. 0%	33. 3%	. 0%	9. 79
2006	度数	1	0	0	0	1
2000	割合(%)	8. 3%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 29
2005	度数	0	0	1	0	
2003	割合(%)	. 0%	. 0%	11. 1%	. 0%	3. 29
2000-2004 年頃	度数	0	0	2	1	(
2000-2004 平頃	割合(%)	. 0%	. 0%	22. 2%	20. 0%	9. 79
1990-1999 年頃	度数	1	0	0	0	-
1990-1999 平頃	割合(%)	8. 3%	. 0%	. 0%	. 0%	3. 20
1980-1989 年頃	度数	0	0	0	2	2
1300-1303 牛頃	割合(%)	. 0%	. 0%	. 0%	40.0%	6. 59
合計	度数	12	5	9	5	31
ΠAT	割合(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

4-5 論文の利用行動

4-5-1 論文を読むために費やした時間(Q5)

Q5.その論文を読むために使った時間を、おおまかで構いませんので分単位で記入してください。

		自然	科学	人文社	会科学	全体	
		教員	大学院生	教員	大学院生	土妆	
度数	有効	12	5	9	5	31	
泛奴	欠損値	1	0	0	0	1	
平均値		68. 33	93. 00	62. 78	143. 00	82. 74	
中央値		30	90	45	20	30	
最頻値		30	30°	120	20	30	
標準偏差		130. 49	60. 37	45. 22	256. 12	129. 79	
最小値		15	30	10	15	10	
最大値		480	180	120	600	600	
パーサン	25	20	38	25	18	20	
パーセン タイル	50	30	90	45	20	30	
ブイル	75	53	150	120	330	90	

a. 最頻値が複数あります。そのうちの最小値が表示されます。

4-5-2 論文を読んだ場所(Q10)

Q10.その論文をどこで読みましたか?

			自然	科学	人文社	会科学	全体
			教員	大学院生	教員	大学院生	王14
	 研究室または実験室で	度数	11	5	3	2	21
	研え至または美殿主で	割合 (%)	35. 5%	16. 1%	9. 7%	6. 5%	67. 7%
	所属機関(大学等)の図書館で	度数	0	1	0	2	3
川禹饿労(割合 (%)	. 0%	3. 2%	. 0%	6. 5%	9. 7%
Q10 ^a	自宅で	度数	4	3	5	4	16
QIO		割合 (%)	12. 9%	9. 7%	16. 1%	12. 9%	51.6%
	移動中の乗り物の中で	度数	2	3	4	1	10
	物動中の来り初の中で	割合 (%)	6. 5%	9. 7%	12. 9%	3. 2%	32. 3%
	その他	度数	0	0	0	1	1
	て 07世 	割合 (%)	. 0%	. 0%	. 0%	3. 2%	3. 2%
A = 1		度数	12	5	9	5	31
	合計		38. 7%	16. 1%	29. 0%	16. 1%	100.0%

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されます。

a. 2 分グループを値 1 で集計します。

4-5-3 論文についての事前知識とその情報源(Q6)

Q6.その論文をはじめて読む前に、論文で報告または検討されている内容についてご存知でしたか?

			科学	人文社	会科学	全体	
		教員	大学院生	教員	大学院生	土体	
はい	度数	2	4	6	2	14	
	割合(%)	16. 7%	80.0%	66. 7%	40.0%	45. 2%	
いいえ	度数	10	1	3	3	17	
0.0.7	割合(%)	83. 3%	20. 0%	33. 3%	60.0%	54. 8%	
合計	度数	12	5	9	5	31	

割合(%) 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0%

4-5-4 論文についての事前知識とその情報源(Q7)

Q7. その内容をどうやって知りましたか?

		自然	科学	人文社	会科学	全体
		教員	大学院生	教員	大学院生	王14
	度数	1	3	2	0	6
学会/ワークショップ 	割合 (%)	7. 1%	21. 4%	14. 3%	. 0%	42. 9%
 仲間との意見交換(口頭や電話等)	度数	0	1	2	0	3
仲间との息光文揆(口頭や电話寺)	割合 (%)	. 0%	7. 1%	14. 3%	. 0%	21.4%
メーリング・リストやニュース・グループ	度数	1	0	1	0	2
x = 9 2 9 + 9 X F = ± = X + 9 M = 9	割合 (%)	7. 1%	. 0%	7. 1%	. 0%	14. 3%
₩➡亳÷	度数	1	1	2	2	6
雑誌論文	割合 (%)	7. 1%	7. 1%	14. 3%	14. 3%	42. 9%
休問かさのプロ	度数	0	1	1	0	2
仲間からのメール 	割合 (%)	. 0%	7. 1%	7. 1%	. 0%	14. 3%
著者のウェブ・サイト	度数	1	0	0	0	1
看有のウェン・サイト 	割合 (%)	7. 1%	. 0%	. 0%	. 0%	7. 1%
 指導教員から(大学院生の場合)	度数	0	3	0	1	4
拍导教員がら《大子院主の場合》 	割合 (%)	. 0%	21. 4%	. 0%	7. 1%	28.6%
7. O. i.h.	度数	0	0	2	0	2
その他	割合 (%)	. 0%	. 0%	14. 3%	. 0%	14. 3%
∆ =1	度数	2	4	6	2	14
合計	割合 (%)	14. 3%	28. 6%	42. 9%	14. 3%	100.0%

5-1 作業時間の比率(Q28)

Q28.以下の作業に、どれだけの時間を割り当てていますか?

									科学											
												学 生								
		研究 (実験を 含む) および 論文執筆	講義・授業・ 学生への指導 (TAの活動を 含む)	管理職として の業務	校務(学内の 各種をはの活動 (例. 広話報、 地域貢献等)	学会活動	企業や政府機 関等へのコン サルティン グ・助言	その他	研究 (実験を含む) および論文執筆	講義・授業・ 学生への指導 (TAの活動を 含む)	管理職として の業務	校務(学内の 各種なける) またはの活動 例の活動 (例の貢献等)	学会活動	企業や政府機 関等へのコン サルティン グ・助言	その他					
	有効	13	13	13	13	13	13	13	5	5	5	5	5	5	5					
数	欠損値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
匀値		47. 31	16. 92	5.00	19.62	6. 54	3. 85	0. 77	78.00	12.00	0.00	6.80	1.00	0.00	2. 20					
央値		30	20	0	15	5	0	0	75	10	0	0	0	0	0					
頃値		30	0	0	0a	5	0	0	60a	0	0	0	0	0	0					
準偏差		31.13	14. 37	8. 66	21.45	3. 76	8. 93	1.88	15. 25	13. 04	0.00	13.08	2. 24	0.00	4. 38					
卜値		10	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	0					
ト値		95	40	30	80	15	30	5	100	30	0	30	5	0	10					
	25	20	3	0	5	5	0	0	65	0	0	0	0	0	0					
-センタ ,	50	30	20	0	15	5	0	0	75	10	0	0	0	0	0					
	75	80	30	10	30	10	3	0	93	25	0	17	3	0	6					
					•	•		人文社	会科学						•					
													学 生							
		研究(実験を	講義・授業・		校務 (学内の 各種委員会)		企業や政府機		研究(実験を	講義・授業・		校務 (学内の 各種委員会)		企業や政府機		研究(実験を	講義・授業・	校務 (学内の 各種委員会)	企業や政府機	

								人文社	会科学													
												学 生										
		研究 (実験を 含む) および 論文執筆	講義・授業・ 学生への指導 (TAの活動を 含む)	管理職として の業務	校務(学内の 各種委員会) または活動 (例. 広活報、 地域貢献等)		企業や政府機 関等へのコン サルティン グ・助言	その他	研究 (実験を 含む) および 論文執筆	講義・授業・ 学生への指導 (TAの活動を 含む)	管理職として の業務	校務(学内の 各種委員会) または所属機 関の活動 (例. 広報、 地域貢献等)	学会活動	企業や政府機 関等へのコン サルティン グ・助言	その他		講義・授業・ 学生への指導 (TAの活動を 含む)	管理職として	校務(学内の 各種をはいる 関のの はのでは 関のの がは がして がして がいる がいる がいる がいる がいる がいる がいる がいる がいる がいる	学会活動	企業や政府機 関等へのコン サルティン グ・助言	その他
度数	有効	9	9	9	9	9	9	9	5	5	5	5	5	5	5	32	32	32	32	32	32	32
及奴	欠損値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均値		33. 89	27. 22	7. 22	16. 67	10.00	5. 00	0.00	75. 00	17. 00	0.00	1.00	7. 00	0.00	0.00	52.66	19.06	4. 06	13. 88	6. 72	2. 97	0.66
中央値		20	20	5	20	10	5	0	80	15	0	0	5	0	0	50	20	0	10	5	0	0
最頻値		20	20a	0	20	20	0	0	80	10	0	0	0	0	0	20	20	0	0	5	0	0
標準偏差		28. 92	16.03	8.33	15.00	8. 29	5. 59	0.00	14. 14	8. 37	0.00	2. 24	8. 37	0.00	0.00	30. 74	14. 39	7. 45	17. 60	6. 43	6.58	2. 10
最小値		5	0	0	0	0	0	0	50	10	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0
最大値		100	50	20	50	20	15	0	85	30	0	5	20	0	0	100	50	30	80	20	30	10
パーセンタ	25	15	18	0	5	3	0	0	65	10	0	0	0	0	0	20	6	0	0	0	0	0
イル	50	20	20	5	20	10	5	0	80	15	0	0	5	0	0	50	20	0	10	5	0	0
170	75	45	40	15	20	20	10	0	83	25	0	3	15	0	0	80	30	9	20	10	4	0

5-2 論文利用の主たる目的(Q12a)

Q12a.その論文から得た情報を、どんな目的のために使用しましたか、あるいは使用する予定ですか?

		自然和	科学	人文社	会科学	A #
		教員	大学院生	教員	大学院生	全体
現在進行中の研究を進めるため	度数	8	4	0	3	15
現在進行中の研究を進めるため	割合(%)	66. 7%	80. 0%	. 0%	60. 0%	48. 4%
講義・講演等(学生・院生の指導を含む)	度数	1	0	2	1	4
神我・神典寺(子生・阮生の指导を含む) 	割合(%)	8. 3%	. 0%	22. 2%	20. 0%	12. 9%
最新情報の入手・更新(広く分野の動向を把握するため	度数	2	1	2	0	5
取制情報の八子・史制(広く力野の動向を指揮するため	割合(%)	16. 7%	20. 0%	22. 2%	. 0%	16. 1%
報告書、論文、その他の執筆	度数	1	0	3	1	5
戦ら音、端文、その他の執事	割合(%)	8. 3%	. 0%	33. 3%	20. 0%	16. 1%
他の研究者等へのアドバイス	度数	0	0	2	0	2
他の研究有等へのアドハイス	割合(%)	. 0%	. 0%	22. 2%	. 0%	6. 5%
合計	度数	12	5	9	5	31
	割合(%)	100.0%	100. 0%	100.0%	100. 0%	100.0%

5-3 論文利用の二次的な目的(Q12b)

Q12b.その論文を読んだ目的が 2 つ以上あるならば、主たる目的以外の目的は何ですか?

			自然	科学	人文社:	会科学	全体
			教員	大学院生	教員	大学院生	至14
	現在進行中の研究を進めるため	度数	2	2	7	1	12
	現代進刊中の研究を進めるため	割合(%)	6. 5%	6. 5%	22. 6%	3. 2%	38. 7%
	講義・演習等(学生・院生への指導を含む)	度数	2	0	2	0	4
	講我・漢目寺(子エ・阮エ・の指等を占む)	割合(%)	6. 5%	. 0%	6. 5%	. 0%	12. 9%
	最新情報の入手/更新(広く分野の動向を把握するため)	度数	4	1	1	3	9
	取利情報の八十/ 史制 (四く分野の動画を指揮するため)	割合(%)	12. 9%	3. 2%	3. 2%	9. 7%	29.0%
	研究計画書の準備(科学研究費の研究計画調書等を含む)	度数	0	0	0	1	1
	別九日 曾の宇備(谷子別九員の別九日 副尚書寺を召名)	割合(%)	. 0%	. 0%	. 0%	3. 2%	3. 2%
	報告書、論文、その他の執筆	度数	4	2	1	3	10
Q12 b ^a	報点音、調文、その他の概率	割合(%)	12. 9%	6. 5%	3. 2%	9. 7%	32. 3%
WIZ_D	論文の査読	度数	1	0	1	0	2
	調えの重説	割合 (%)	3. 2%	. 0%	3. 2%	. 0%	6. 5%
	 他の研究者等へのアドバイス	度数	1	0	1	0	2
	他の研究有等へのグラバイス	割合 (%)	3. 2%	. 0%	3. 2%	. 0%	6. 5%
	研究発表の準備	度数	3	2	0	4	9
	切え光衣の牛捕	割合 (%)	9. 7%	6. 5%	. 0%	12. 9%	29. 0%
	二次的な目的はない	度数	1	0	1	1	3
	一次的分子目的的表示。	割合 (%)	3. 2%	. 0%	3. 2%	3. 2%	9. 7%
	その他	度数	0	0	1	0	1
		割合 (%)	. 0%	. 0%	3. 2%	. 0%	3. 2%
合計		度数	12	5	9	5	31
		割合 (%)	38. 7%	16. 1%	29. 0%	16. 1%	100.0%

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されます。

a. 2 分グループを値 1 で集計します。

5-4 論文利用の効果の認識(Q13)

Q13. その論文を利用したことで、どのような効果がありましたか?

			自然	科学	人文社会	注科学	全体
			教員	大学院生	教員	大学院生	王14
		度数	1	2	2	4	9
	研究成果を向上させた	割合 (%)	3. 2%	6. 5%	6. 5%	12. 9%	29. 0%
	焦点の絞込み、視点の拡大/変更に役立った	度数	5	5	5	5	20
	無点の叙述の、祝点の拡入/ 変更に使立うた 	割合 (%)	16. 1%	16. 1%	16. 1%	16. 1%	64. 5%
	新たな考えやアイデアにつながった	度数	7	2	6	4	19
	利にな考えやテイナテにフながうに	割合 (%)	22. 6%	6. 5%	19. 4%	12. 9%	61.3%
Q13 ^a	研究目的の早期達成につながった	度数	1	1	1	1	4
WIS	研究日的の平朔達成に フなかうた	割合 (%)	3. 2%	3. 2%	3. 2%	3. 2%	12. 9%
	技術的問題を解決できた	度数	3	2	1	1	7
	技術的问題を解決された	割合 (%)	9. 7%	6. 5%	3. 2%	3. 2%	22. 6%
	時間や資源を節約できた	度数	3	1	0	0	4
	時间で食物を助売して	割合 (%)	9. 7%	3. 2%	. 0%	. 0%	12. 9%
	Z (0.4h)	度数	2	0	0	0	2
	その他	割合 (%)	6. 5%	. 0%	. 0%	. 0%	6. 5%
合計		度数	12	5	9	5	31
		割合 (%)	38. 7%	16. 1%	29. 0%	16. 1%	100.0%

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されます。

a. 2 分グループを値 1 で集計します。

5-5 論文の目的達成に関する重要度(Q14)

Q14. その論文の内容は、主たる目的の達成にどの程度重要でした(です)か?

		自然	科学	人文社	会科学	全体
		教員	大学院生	教員	大学院生	主体
とても重要である	度数	5	3	3	3	14
としも里安じめる	割合(%)	41.7%	60. 0%	33. 3%	60. 0%	45. 2%
じょこかしいこば手声でもフ	度数	7	2	4	2	15
どちらかといえば重要である	割合(%)	58. 3%	40. 0%	44. 4%	40.0%	48. 4%
12+ > L + 1 \ = + \ 1 \	度数	0	0	1	0	1
どちらともいえない	割合(%)	. 0%	. 0%	11. 1%	. 0%	3. 2%
じょこれしいこば手声ではかい	度数	0	0	1	0	1
どちらかといえば重要ではない	割合(%)	. 0%	. 0%	11. 1%	. 0%	3. 2%
合計	度数	12	5	9	5	31
	割合(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

6 学術論文の利用に関して問題となる事項や要望

Q23.学術情報、研究情報の利用に関し問題となっている事項、あるいは図書館や出版社への要望があれば、記入してください。

- 1) sucopus に引っかからないことがあり、他のデータベースも利用したい。【大学院生、物理学】
- 2) フリーで利用できること。【教員、農学】
- 3) 現在文献複写は紙媒体で受け取っていますが、電子データで受け取れるようになると、非常にありがたいです。【教員、物理学】
- 4) 最新の論文がなかなか読めないことが問題。音読付き論文(有名なトピックスだけでもよいので)があれば絶対利用したい。【大学院 生、物理学】
- 5) 資料保存の観点や所蔵場所の容量の問題から、電子化は便利に思われ、学術の進展を期待できそうだと思う一方、比較的容易に利用できることが、広く浅い研究の蔓延につながらないかと懸念される面もある。また、電子化は閲覧上不都合を感じることも少なくなく、折り合いをつけるのが難しいように思う。 / 論文や文献における引用箇所や参考文献について、出典の記載が不十分に思われることがしばしばある。 / 刊行物のなかで誤字脱字が散見されると、出版に至るまでのプロセスにおける詰めが甘かったのだろうかと思ってしまう。【大学院生、社会科学】
- 6) 充分に便利になっていると思う。【教員、社会科学】
- 7) 是非、現在のお茶大の図書館のレベル以上を維持願います。情報は小さなサイズの大学こそが充実しないといけない分野と認識して

おります。【教員、農学】

- 8) 全ての雑誌の電子ジャーナル化を望む.【教員,工学】
- 9) 電子書籍のリストの情報がほしい【教員、社会科学】
- 10) 日本語の雑誌の電子ジャーナル化が遅れている。【教員、社会科学】
- 11) 文献検索データベースが、OUP や Cambridge UP などの大学出版会を含む海外出版社の独占的提供になっているのは問題。価格設定もリーズナブルとは思えない。また、せめて利用量に応じた課金制や、大学退職後などのフリーの研究者に対する減額使用料など、こまめな対応を考えてもらいたい。【教員、人文学】
- 7 今後の図書館サービスのあり方に関する要望や意見

Q24.学術研究、高等教育に関連する図書館サービスの今後のあり方について、要望や意見を自由に記入してください。

- 1) イギリスの大学に所属し、大学図書館を利用出来る場合、論文検索からヒットした論文の出力まで一貫して可能なサービスとなっている。しかし日本では、たとえば Bibliography of British and Irish History や International Medieval Bibliography など、それぞれ単体で、最低でも年間 16 万円程度の使用料がかかる。またヒットした論文をダウンロードしたくても、電子ジャーナルが充実していないと無理である。個人研究費のレベルではとうていまかなえきれず、研究するなと言われているに等しい。せめて大学間コンソーシアムなどによって、利用できるようにしてほしい。【教員、人文学】
- 2) ココ4、5年前からお茶大図書館サービスは、過去に例を見ないほど飛躍的に素晴らしい状態(サービス、サーチ環境、図書館自体の環境など)になったと実感し、感謝しております。今後、建物が新しくなるチャンスがあるのならば、現図書館の地に情報をも include したセンター 化建築物(11F建構想)を推進願いたいです。附属校の図書領域(サービス)や開かれた図書情報網を本学で確立いただけるとありがたいです。【教員、農学】
- 3) タイトル等を送ると PDF (あるいは印刷物) を用意してくれるサービス。内容を伝えると、オススメの論文を推薦してくれるサービス。【大学院生、物理学】
- 4) 医中誌に関連する論文は、料金が発生し閲覧することができないことが多いので、お茶大内で閲覧できるようにしてほしい。 / / 文献複写のサービスは、とても充実しているように思う。 / 思ったより早く届いたり、多くの文献を図書館のサービスによって手元に取り寄せることができたりするので、今後も続けて欲しい。 / / どのようなことが図書館サービスとしてできるのか、よくわからない。研究のどの部分に活かせるのか、などが分かると嬉しいし、どのようなサービスがあるかが分かれば、もっと利用できるように思う。【大学院生、社会科学】
- 5) 学術雑誌をWeb上で自由に見られること。【教員,農学】
- 6) 紙媒体での保管は必要最低源で良いので、電子化した雑誌へのアクセス権限を拡げることに、費用を使って貰いたい.【教員、工学】
- 7) 充分に機能していると思う。【教員、社会科学】
- 8) 新刊図書のみならず、古書も含めて蔵書数が増えることに期待したいと思う。【大学院生、社会科学】

- 9) 大学院卒レベルの専門知識をもった司書をもっと多く配置してほしい。学問分野別の担当司書をおくべきである。/国立大学の図書館は、会計規則その他のルール、学内予算の配分の慣行に縛られ、大学図書館として機能していない点を強く反省すべきである。英米系の大学図書館のレベルに早く到達すべきである。/大学の規模により購読できる電子ジャーナル(データベース)数に格差が生じ、大学間の研究条件格差が拡大することを防いでほしい。【教員、社会科学】
- 10) 複写サービスを大学の図書館にお願いする際、専用の用紙に手書きで記入し、手渡すことになっている。しかし複数の文献をお願いするときや、海外文献のときは、手書きで書くのはとても時間がかかる。そのため、ネット上でお願いできる形にしていただくか、自分でワード等で記入して図書館に持っていく形にしていただきたい。【大学院生、社会科学】
- 11) 文献複写のサービスを、もっと簡潔に・スピーディーにしてほしい。当学だけかもしれないが、他大学へ文献複写を申し込みする際、個人は申し込み書類を図書館に提出し、図書館が他大学へ連絡する方法をとる。図書館が間にたってやり取りしてくれるのは有り難いが、紙の申込書類であるため、提出は開館時間内に限られる上、わざわざ足を運ばなくてはならず面倒である。論文の検索や OPAC、NACSIS-WebCat はオンラインで検索しているのであるから、文献複写の申し込みもオンラインで行えるようにしてほしい。これが本学のみの問題点であるならご容赦ください。【大学院生、生物学】

8 研究業績と研究資金

8-1 研究業績(Q29)

							科学									
									学 生							
		読付き学術 雑誌に発表 した論文数	査読制のない雑誌に発表した論文 数	図書の分担 執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数	著書 (単 著) の数	その他	読付き学術 雑誌に発表 した論文数	査読制のない雑誌に発表した論文数	図書の分担 執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数	著書(単 著)の数	その他					
度数	有効	13	13	13	13	13	5	5	5	5	5					
反奴	欠損値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
平均値		5. 77	4. 85	0. 77	0. 23	0. 08	11. 40	0. 40	0. 20	0. 00	0. 40					
中央値		5	1	0	0	0	3	0	0	0	0					
最頻値		3	0	0	0	0	3	0	0	0	0					
標準偏差		5. 21	13. 63	1. 36	0. 83	0. 28	21. 62	0. 55	0. 45	0. 00	0. 89					
最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
最大値		20	50	4	3	1	50	1	1	0	2					
パーセンタ	25	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0					
イル	50	5	1	0	0	0	3	0	0	0	0					
	75	8	3	2	0	0	27	1	1	0	1					
						人文社	会科学 I		224 H							
			1	図書の八切		人又社	会科字		学生		<u> </u>			図書の八切		
		読付き学術 雑誌に発表 した論文数	査読制のない雑誌に発 表した論文 数	図書の分担 執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数	著書(単 著)の数	その他	読付き学術雑誌に発表した論文数	査読制のない雑誌に発表した論文 数	学 生 図書の分担 執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数	著書(単 著)の数	その他	読付き学術 雑誌に発表 した論文数	査読制のな い雑誌に発 表した論文 数	図書の分担 執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数	著書(単 著)の数	その他
re 米h	有効	雑誌に発表	い雑誌に発 表した論文	執筆(共同 執筆)、会 議録その他			読付き学術 雑誌に発表	い雑誌に発 表した論文	図書の分担 執筆(共同 執筆)、会 議録その他		その他 5	雑誌に発表	い雑誌に発 表した論文	執筆(共同 執筆)、会 議録その他		その他 32
度数	有効 欠損値	雑誌に発表 した論文数	い雑誌に発 表した論文 数	執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数	著)の数 9 0	その他	読付き学術 雑誌に発表 した論文数	い雑誌に発 表した論文 数	図書の分担 執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数	著)の数	5 0	雑誌に発表 した論文数 32 0	い雑誌に発 表した論文 数	執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数	著)の数	
度数平均值		雑誌に発表 した論文数 9	い雑誌に発 表した論文 数	執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 9	著)の数 9	その他 9	読付き学術 雑誌に発表 した論文数	い雑誌に発 表した論文 数	図書の分担 執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数	著)の数 5	5	雑誌に発表 した論文数 32	い雑誌に発 表した論文 数 32	執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 32	著)の数 32	32
平均値 中央値		雑誌に発表 した論文数 9 0	い雑誌に発 表した論文 数 9 0	執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 9 0 1.56	著)の数 9 0	その他 9 0	読付き学術 雑誌に発表 した論文数	い雑誌に発 表した論文 数 5 0	図書の分担 執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 5	著)の数 5 0	5 0 1.20	雑誌に発表 した論文数 32 0	い雑誌に発 表した論文 数 32 0	執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 32 0	著)の数 32 0	32
平均値 中央値 最頻値		雑誌に発表 した論文数 9 0 1.56 2	い雑誌に発 表した論文 数 9 0 1.44 1	執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 9 0 1.56	著)の数 9 0 0.33 0	その他 9 0 0.00 0	読付き学術 雑誌に発表 した論文数 5 0 0.80 0	い雑誌に発 表した論文 数 5 0 0.60	図書の分担 執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 5 0 0.00	著)の数 5 0 0.00 0	5 0 1.20 0	雑誌に発表 した論文数 32 0 4.69 2 0a	い雑誌に発 表した論文 数 32 0 2.53 1 0	執筆 (共同 執筆)、会 議録その他 の数 32 0 0.78	著)の数 32 0 0.19 0	32 0 0.28 0
平均値 中央値 最頻値 標準偏差		雑誌に発表 した論文数 9 0 1.56 2	い雑誌に発 表した論文 数 9 0 1.44	執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 9 0 1.56	著)の数 9 0 0.33 0	その他 9 0 0.00 0	読付き学術 雑誌に発表 した論文数 5 0 0.80 0	い雑誌に発 表した論文 数 5 0	図書の分担 執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 5 0 0.00	著)の数 5 0 0.00	5 0 1.20	雑誌に発表 した論文数 32 0 4.69	い雑誌に発 表した論文 数 32 0 2.53	執筆 (共同 執筆)、会 議録その他 の数 32 0 0.78	著)の数 32 0 0.19	32 0 0.28
平均値 中央値 最頻値		雑誌に発表 した論文数 9 0 1.56 2	い雑誌に発 表した論文 数 9 0 1.44 1	執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 9 0 1.56	著)の数 9 0 0.33 0	その他 9 0 0.00 0	読付き学術 雑誌に発表 した論文数 5 0 0.80 0	い雑誌に発 表した論文 数 5 0 0.60	図書の分担 執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 5 0 0.00	著)の数 5 0 0.00 0	5 0 1.20 0	雑誌に発表 した論文数 32 0 4.69 2 0a	い雑誌に発 表した論文 数 32 0 2.53 1 0	執筆 (共同 執筆)、会 議録その他 の数 32 0 0.78	著)の数 32 0 0.19 0	32 0 0.28 0
平均値 中央値 最頻値 標準偏差		雑誌に発表 した論文数 9 0 1.56 2 2 1.24	い雑誌に発 表した論文 数 9 0 1.44 1 0	執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 9 0 1.56 0 2.35	著)の数 9 0 0.33 0 0 0.71	その他 9 0 0.00 0 0	読付き学術 雑誌に発表 した論文数 5 0 0.80 0 1.10	い雑誌に発表した論文 数 5 0 0.60 1 1 0.55	図書の分担 執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 5 0 0.00 0	著)の数 5 0 0.00 0 0	5 0 1. 20 0 0	雑誌に発表 した論文数 32 0 4.69 2 0a 9.19	い雑誌に発表した論文 数 32 0 2.53 1 0 8.74	執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 32 0 0.78 0 1.58	著)の数 32 0 0.19 0 0 0.64	32 0 0.28 0 0
平均值中央值最頻值標準偏差最小值最大值		雑誌に発表 した論文数 9 0 1.56 2 2 1.24	い雑誌に発 表した論文 数 9 0 1.44 1 0 1.42	執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 9 0 1.56 0 0 2.35 0 6	著)の数 9 0 0.33 0 0 0.71 0 2 0	その他 9 0.00 0.00 0.00 0.00 0	読付き学術 雑誌に発表 した論文数 5 0 0.80 0 1.10 0	い雑誌に発表した論文 数 5 0 0.60 1 1 0.55	図書の分担 執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 5 0 0.00 0 0	著)の数 5 0 0.00 0 0 0	5 0 1.20 0 0 1.64 0	雑誌に発表 した論文数 32 0 4.69 2 0a 9.19 0 50	い雑誌に発表した論文 数 32 0 2.53 1 0 8.74	執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 32 0 0.78 0 1.58	著)の数 32 0 0.19 0 0 0.64	32 0 0.28 0 0 0.81 0
平均値 中央値 最頻値 標準偏差 最小値 最大値	欠損値	雑誌に発表 した論文数 9 0 1.56 2 2 1.24 0 3	い雑誌に発 表した論文 数 9 0 1.44 1 0 1.42 0	執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 9 0 1.56 0 0 2.35 0	著)の数 9 0 0.33 0 0 0.71 0 2	その他 9 0 0.00 0.00 0 0.00 0 0.00	読付き学術 雑誌に発表 した論文数 5 0 0.80 0 1.10 0	い雑誌に発表した論文 数 5 0 0.60 1 1 0.55 0 1	図書の分担 執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 5 0 0.00 0 0 0 0	著)の数 5 0 0.00 0 0 0 0 0	5 0 1.20 0 0 1.64 0 3	雑誌に発表 した論文数 32 0 4.69 2 0a 9.19 0 50 0	い雑誌に発表した論文 数 32 0 2.53 1 0 8.74 0	執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 32 0 0.78 0 1.58 0	著)の数 32 0 0.19 0 0.64 0 3	32 0 0.28 0 0 0.81
平均值中央值最頻值標準偏差最小值最大值	欠損値	雑誌に発表 した論文数 9 0 1.56 2 2 1.24 0 3	い雑誌に発 表した論文 数 9 0 1.44 1 0 1.42 0	執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 9 0 1.56 0 0 2.35 0 6	著)の数 9 0 0.33 0 0 0.71 0 2 0	その他 9 0 0.00 0.00 0 0.00 0 0 0.00 0 0 0	読付き学術 雑誌に発表 した論文数 5 0 0.80 0 1.10 0 2	い雑誌に発表した論文 数 5 0 0.60 1 1 0.55 0 1	図書の分担 執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 5 0 0.00 0 0 0 0	著)の数 5 0 0.00 0 0 0.00 0 0	5 0 1.20 0 0 1.64 0	雑誌に発表 した論文数 32 0 4.69 2 0a 9.19 0 50	い雑誌に発表した論文 数 32 0 2.53 1 0 8.74 0 50	執筆(共同 執筆)、会 議録その他 の数 32 0 0.78 0 1.58 0	著)の数 32 0 0.19 0 0.64 0 3 0 0 0 0.64	32 0 0.28 0 0 0.81 0

8-2-1 共著者数(Q30)

Q30. 査読付き学術雑誌に発表した論文のうち、もっとも最近のもの1本についてお尋ねします。共著論文の場合、共著者は何人でしたか?

		(-) L D (O) C pinio	自然	科学	人文社	会科学	△ #
			教員	大学院生	教員	大学院生	全体
	単著	度数	0	0	0	1	1
	半 有	割合(%)	. 0%	. 0%	. 0%	100. 0%	5. 3%
	1	度数	1	1	0	0	2
		割合(%)	8. 3%	25. 0%	. 0%	. 0%	10. 5%
	2	度数	1	0	1	0	2
		割合(%)	8. 3%	. 0%	50. 0%	. 0%	10. 5%
	3	度数	2	1	0	0	3
	S	割合(%)	16. 7%	25. 0%	. 0%	. 0%	15. 8%
	4	度数	1	1	1	0	3
+ 支 + * **	4	割合(%)	8. 3%	25. 0%	50. 0%	. 0%	15. 8%
共著者数	5	度数	1	0	0	0	1
	3	割合(%)	8. 3%	. 0%	. 0%	. 0%	5. 3%
	6	度数	2	1	0	0	3
	0	割合(%)	16. 7%	25. 0%	. 0%	. 0%	15. 8%
	7	度数	2	0	0	0	2
	1	割合(%)	16. 7%	. 0%	. 0%	. 0%	10. 5%
	9	度数	1	0	0	0	1
	9	割合(%)	8. 3%	. 0%	. 0%	. 0%	5. 3%
	10 N F	度数	1	0	0	0	1
	10 以上	割合(%)	8. 3%	. 0%	. 0%	. 0%	5. 3%
스타		度数	12	4	2	1	19
合計		割合(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

8-2-2 研究資金源(Q30-2)

Q32-2. その論文の元となった研究の資金は、どこから得ましたか?

- 			自然	——————— 科学	人文社	会科学	全体
			教員	大学院生	教員	大学院生	王14
	政府からの資金(例、科学研究費)	度数	11	1	4	1	17
	政府からの負金(例、科子研究复)	割合 (%)	45. 8%	4. 2%	16. 7%	4. 2%	70. 8%
	財団からの補助金	度数	1	1	0	0	2
	対回からの補助金	割合 (%)	4. 2%	4. 2%	. 0%	. 0%	8. 3%
	企業からの補助金または企業との契約	度数	3	1	0	0	4
Q30_2ª	正来からの補助並または正来との契約	割合 (%)	12. 5%	4. 2%	. 0%	. 0%	16. 7%
Q30_Z-	大学・研究機関内の特別研究費	度数	2	0	0	0	2
	八子・埘九悈関内の付別岍九員	割合 (%)	8. 3%	. 0%	. 0%	. 0%	8. 3%
	ナヴ・研究機関内の済労研究弗の払力で	度数	7	2	3	0	12
	大学・研究機関内の通常研究費の枠内で	割合 (%)	29. 2%	8. 3%	12. 5%	. 0%	50.0%
	この出	度数	0	0	0	1	1
	その他	割合 (%)	. 0%	. 0%	. 0%	4. 2%	4. 2%
스타		度数	12	4	6	2	24
合計		割合 (%)	50.0%	16. 7%	25. 0%	8. 3%	100.0%

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されます。

a. 2 分グループを値 1 で集計します。

8-3 受賞等(Q31)

Q 31. 過去 2 年間に、研究または他の専門家としての貢献により、受賞または特別な表彰を受けましたか?

		自然	科学	人文社	会科学	全体
		教員	大学院生	教員	大学院生	土体
1+1>	度数	3	2	0	0	5
はい	割合(%)	23. 1%	40.0%	. 0%	. 0%	15. 6%
いいえ	度数	10	3	9	5	27
いいえ	割合(%)	76. 9%	60.0%	100.0%	100.0%	84. 4%
△ =1	度数	13	5	9	5	32
合計	割合(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

9 学術雑誌の個人購読(Q32)

						科学							人文	社会科学							
						i	学	生					,,,,,		学	生		1			
		私費による 購読	個人研究費 または他の 財源による 購読	ための研究 費または他	上記のう ち、電子版 のみでの購 読は何誌で すか	私費による購読	個人研究費 または他の 財源による 購読	費または他	ち、電子版	私費による購読	個人研究費 または他の 財源による 購読	費または他	ち、電子版 のみでの購	私費による購読	個人研究費 または他の 財源による 購読	共同利用の ための研究 費または他 の財源によ る購読	ち、電子版	私費による購読	個人研究費 または他の 財源による 購読	費または他	ち、電子版 のみでの購
度数	有効	13	13	13	13	5	5	5	5	9	9	9	9	5	5	5	5	32	32	32	32
	欠損値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均値		1. 69	1. 77	0. 31	0. 23	0.60	0.00	0.00	0.00	2. 89	0.89	0.56	0.00	3. 60	0.00	0.00	0.00	2. 16	0. 97	0. 28	0.09
中央値		1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	3	0	0	0	2	0	0	0
最頻値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3a	0	0	0	0	0	0	0
標準偏差		2. 29	3. 06	0. 75	0.44	0.89	0.00	0.00	0.00	2. 98	1. 36	1. 67	0.00	1. 34	0.00	0.00	0.00	2. 37	2. 16	0. 99	0.30
最小値	•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
最大値	•	7	8	2	1	2	0	0	0	8	3	5	0	5	0	0	0	8	8	5	1
パーセンタイ	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
ル	50	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	3	0	0	0	2	0	0	0
	75	3	4	0	1	2	0	0	0	5	3	0	0	5	0	0	0	4	0	0	0
a. 最頻値が初	夏数あります。そ	のうちの最小	値が表示され	ます。												_					